

◆ 巻頭言

あなたから“口コミ”ムーブメントを始めよう

マエキタ ミヤコ

夏至と冬至の夜8時から10時の2時間、でんきを消してスローな夜を楽しもう。こんなテーマを掲げる自発性と多様性と一体感の環境文化運動「100万人のキャンドルナイト」も7年目。今年も6月21日(日)には一斉に街のあかりが消えて、多くの人が暗闇で一体感を体験します。単なる省エネ節電ではなく、失われたコミュニティ、人と人のつながり、音楽やアートやおいしいもの、虫や鳥や小さな水の流れや星、そんな忘れものを取り戻そうと口コミで広がったムーブメントです。

口コミで広がる社会ムーブメントは、無限の可能性があります。生物多様性、平和構築、メディアリテラシー（国民の知る権利）、人間開発、ジェンダー、人権、貧困解決でも可能です。中でも日本の生物多様性と平和構築は話題性たっぷり。でも取り組む人が足りていません。東京では奇跡の生態系・水豊かな高尾山にトンネルを開けるなんて、と話題ですが、トンネルなしで済ますための道路二階建て案が出ています。八ッ場（やんば）ダムも話題ですが、沈むはずだった江戸時代から続く川原湯温泉を残したほうがずっとお金になる、温泉はみんなに喜ばれる持続可能な観光資源だし、エネルギー産業だし。望まれない8,900億円のダムで、首都圏の人に長年の借金を負わせ、両方が苦しくなるより（水は余っている、ダムはもういらぬという関東1都5県の水道データもあるそう）、ご先祖さまが残してくれた温泉を大事にしてみんなに喜んでもらったほうがいい、という意見ももつともです。

どんな課題も最初はひとりの人から始まり、口コミで伝わっていきます。あなたがもし社会をよい方へ変えたいと思うなら、ぜひ課題を見つけ、情報を受け取って次の人に渡す発信者になってください。



PROFILE

マエキタ ミヤコ

広告メディアクリエイティブ「サステナ」代表。コピーライター、クリエイティブディレクターとしてNGOの広告に取り組み（1997年～）、「サステナ」を設立（2002年）。「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表。「ほっとけない世界のまですしさ」2005キャンペーン実行委員。東京外国語大学 Peace & Conflict Studies 助教。立教大学・上智大学非常勤講師。